

# 燃料配送を通じて産業活動を支える力として期待 定年制インターンシップ

## 千歳・恵庭地域援護センター

自衛隊札幌地方協力本部千歳・恵庭地域援護センターは、9月5日（金）、苫小牧市に本社を置き、道内で石油製品の配送等を行う北海道エネルギー輸送株式会社の協力を受け、令和7年度から令和11年度に定年退職を迎える予定の若年定年制隊員10名に対し、インターンシップを行いました。

本インターンシップは、退職予定の若年定年制隊員に対し、隊員の再就職に係る希望の具体化や再就職後の早期離職防止を図ることを目的としています。

はじめに、専務取締役による挨拶が行われ、続いて企業担当者から業界及び会社の概要説明が行われ、その後、実車を用いた石油製品の荷下ろしの展示説明が行われました。

最後に全般を通じた質疑応答が行われ、参加した隊員からは「荷下ろしの展示説明を含め、燃料配送という業務について知識を得ることができた」「処遇面も魅力があり、再就職先の候補の一つとして考えたい」などの声が寄せられました。

自衛隊札幌地方協力本部は、企業等に対し自衛官の有用性を周知するとともに、隊員が再就職準備を不安なく進められるよう、部隊と連携を図りつつ親身な就職の援助を行っていきます。



概要説明を受ける参加者



荷下ろしの準備段階を見学する参加者



荷下ろしの展示説明を受ける参加者①



荷下ろしの状況を見学する参加者②



タンクローリーの運転席を見学する参加者



業務に対する質疑応答の様子